



配管設計講習会（九州会場（第1回）：7月4日～6日、大阪会場：7月11日～13日、関東会場（第1回）：8月8日～10日）

水道事業体職員及び設計業者の方々、九州会場が51名、大阪会場が50名、関東会場が59名の参加を得て、「配管設計のあらまし」「設計・積算の実務知識」「製図の基本」「管路の製図演習」「管路の積算演習」について研修を実施した。

未納料金対策実務研修会（東京第1回）（7月10日～7月11日）

水道事業及び賛助会員の主に料金徴収業務に携わる方々53名の参加を得て、未納料金対策について実務を中心とした研修会を実施した。

また、グループ別のディスカッションに於いては、活発な情報交換が行われた。

第13回水道用塗料等に関する規格専門委員会（7月12日・13日）

水道用無溶剤形エポキシ樹脂塗料塗装方法（JWWA K 157）において、水道用塗覆装鋼管を対象に、塗膜を厚膜化する規定類を追加する主旨で、株式会社多久製作所関西工場にて第1回目の委員会を開催し、塗装工程の視察及び規格改正の審議を行った。

消費税実務講座（7月12日～7月13日）

正会員及び賛助会員の事務職員の方々48名の参加を得て「国・地方公営企業の消費税」「消費税等の予算経理及び会計処理」（講師：中田ビジネスコンサルティング代表 公認会計士 中田ちず子）について研修を実施した。

### 第233回衛生常設調査委員会（7月20日）

開会にあたり、正副委員長の互選を行い、委員長に寺嶋勝彦委員（大阪市）、副委員長に北澤弘美委員（東京都）、伊佐治知明委員（名古屋市）を選出した。

次いで、審議事項①水道用資機材（銅合金）の衛生性に関する検討結果、②日本水道協会規格「水道用アンスラサイト（JWWA A 103-2：2006）」の規格の一部改正、③水道用塗料の浸出試験調査専門委員会（仮称）の設置について審議し、それぞれ原案どおり了承された。

その後、厚生労働省尾川水道水質管理官から、利根川流域でのホルムアルデヒド汚染事故、水道水質検査方法の妥当性評価ガイドライン（案）、逐次改正検討会での検討内容等、最新の水質情報について説明を受けた。



### 新水道事業管理者研修会（7月23日～7月25日）

就任間もない事業管理者及び責任者の方々57名の参加を得て、「地方公営企業の会計方式」、「水道事業における危機管理」「水道事業における労働法体系並びに労務管理」「地方公営企業の労使関係」「水道事業と争訟」「水道経営と料金のあり方」について、それぞれの科目に造詣の深い講師より講義が行われた。

また、研修会の最後にディスカッションが設定され、活発な情報交換が行われた。

### 第171回工務常設調査委員会（7月26日）

はじめに正副委員長の互選を行い、委員長には横浜市水道局の林担当理事・給水部長が、副委員長には東京都水道局の佐々木給水部長と新潟市水道局の大沼技術部長がそれぞれ選任された。

その後、JWWA規格の改正、上水道施設に係わるCAD製図基準（案）、配水管講習会に係わる運営委員会の検討事項について審議し、了承された。

このほか、指定給水装置工事事業者研修テキスト2010の改訂、水道施設設計指針改訂説明会、地震等緊急時対応の手引き改訂特別調査委員会、最新の水質情報等について報告を行った。



### 第8回 ISO/TC224上水道国内対策委員会（7月27日）

① WG6（アセットマネジメント）の動向、  
② WG7（危機管理）の動向、③ WG9（遠隔監視による意思決定支援システム）の動向、  
④ ISO 水ワークショップについて、それぞれ報告を行った。



### 第68回水道 GLP 認定委員会（7月30日）

水道 GLP 認定について、東北環境開発株式会社（申請番号：JWWA-GLP 086）、公益財団法人北九州生活科学センター（申請番号：JWWA-GLP 087）が新規に審議され決定された。また、認定更新検査機関として豊中市上下水道局（認定番号：JWWA-GLP 038、7月29日付）が、更新後の認定維持検査機関として川崎市上下水道局（認定番号：JWWA-GLP 011）、阪神水道企業団（認定番号：JWWA-GLP 012）、福岡市水道局（認定番号：JWWA-GLP 013）が、それぞれ審議され決定された。

### 第909回会誌編集委員会（7月30日）

本誌11月号、1月号の編集方針、投稿原稿の審査、並びに本協会会長表彰有効賞の候補論文について審議した。

### 第152回水道技術管理者協議会（7月31日）

JWWA 規格の改正、上水道施設に係わる CAD 製図基準（案）、配水管講習会に係わる運営委員会の検討事項、第63回全国水道研究発表会、最新の水質情報、水道施設設計指針改訂説明会、地震等緊急時対応の手引き改訂特別調査委員会、東日本大震災における管本体及び管路付属設備の被害調査などについて報告を行った。

### 第3回 耐震技術検討専門委員会（8月1日）

日本水道会館第6会議室において①第三者による性能設計チェックの必要性、②耐震設計や耐震診断の事例収集、③耐震設計の手引き書について審議を行った。

### 未納料金対策実務研修会（大阪会場）（8月2日～8月3日）

水道事業及び賛助会員の主に料金徴収業務に携わる方々61名の参加を得て、未納料金対策について実務を中心とした研修会を実施した。

また、グループ別のディスカッションに於いては、活発な情報交換が行われた。

### 地方公営企業会計制度等の見直しに関する研修会（関東会場第1回：8月3日、関東会場第2回：8月6日）

新会計基準へ移行するために必要な作業やその手順について整理するとともに「資本剰余金の移行処理」「引当金の計上」「減損会計の導入」等、会計基準の見直し項目別にケーススタディを交えた詳細説明を行うことにより、移行作業を円滑に進めることを目的として、本協会の正会員の経理・財務担当者及び賛助会員を対象として第1回が164名、第2回が119名の参加者を得て研修会を開催した。



水道協会雑誌平成24年8月号掲載記事の訂正について

本誌平成24年8月号に掲載いたしました『事例報告』リースによる排水処理施設の施工事例』につきまして、掲載内容に一部誤りがございました。ここに深くお詫びし、訂正申し上げます。

	<正>	<誤>
16頁 右側 上から9行目	沈澱池、 <u>急速<del>汚</del>過池</u> で処理している。水源である	沈澱池、 <u>急速<del>汚</del>過池</u> で処理している。水源である
19頁 右側 上から5行目	子凝集剤による濁水処理機、ベルト型 <u>汚</u> 過濃縮機	子凝集剤による濁水処理機、ベルト型 <u>過</u> 濃縮機
19頁 左側 写真-2 タイトル	写真-2 ベルト型 <u>汚</u> 過濃縮機	写真-2 ベルト型 <u>過</u> 濃縮機
21頁 右側 表中 下から9行目 下から15行目	仕様：ミキシング部、 <u>汚</u> 過部、脱水部、搬送用スクリュー ⑥ベルト型 <u>汚</u> 過濃縮機	仕様：ミキシング部、 <u>過</u> 部、脱水部、搬送用スクリュー ⑥ベルト型 <u>過</u> 濃縮機